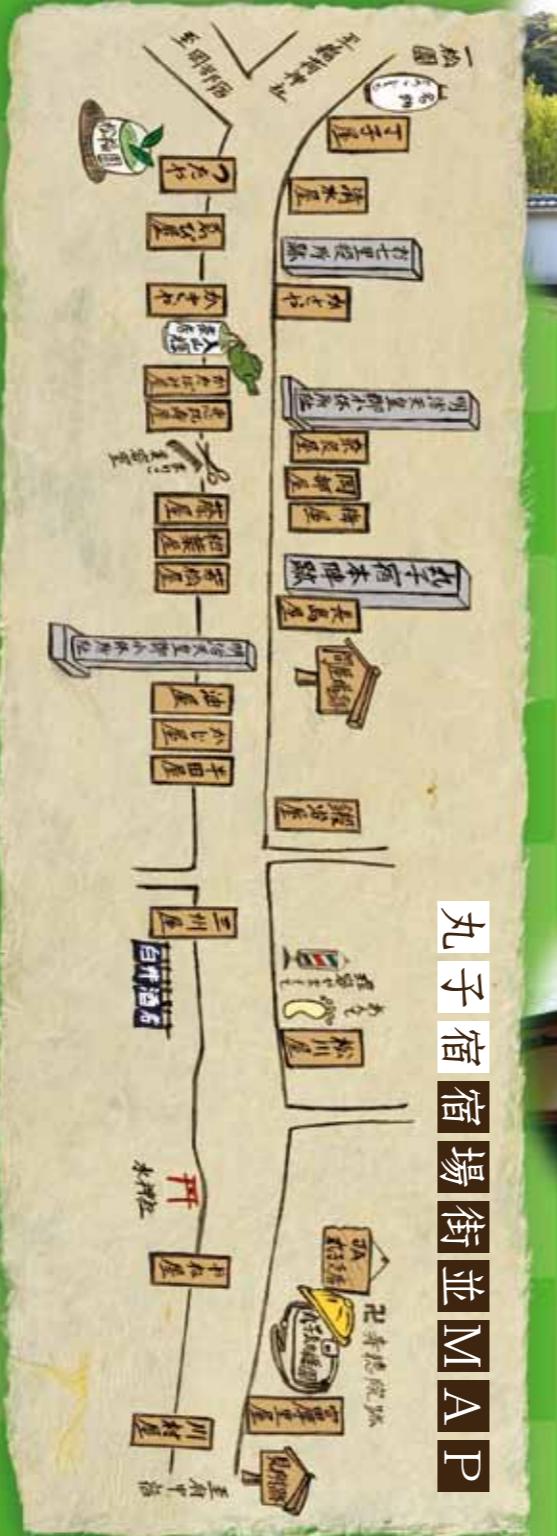


古きを知る語り部から若い世代へ  
丸子の奥深さをご紹介します



丸子まちづくり協議会とは…丸子まちづくり協議会が発足したのは平成23年4月。協議会ではこれまで『こんにちほあちちゃん訪問』『福祉車両「ちゃーまる号」』での高齢者外出支援』『丸子詩「うたまつり」』『広報誌丸子カフェ』など、さまざまな事業を実施してきました。構成組織である9つの部会では、従来からの事業に加え、新たな視点での新規事業にも取り組んでいます。協議会を構成する団体やスタッフも徐々に増え、将来に向けて名実ともに、丸子まちづくりの中核組織となるとしています。

語り部 小豆川 整

profile

昭和28年（1953）丸子に生まれる。静岡農業高校、農林短大を経て農家を継ぐ。20歳から所属した地元青年団では、年数回の海外視察を経験し、地元内外との連携した活動を行う。その中で、静岡市長田公民館に出入りするようになつた際、公民館長であった近藤銳一氏と知り合い、地元への活動に積極的に取り組む。一方児童絵画コンクールで県知事賞を受賞、全国2位の名誉に輝いた。今も油絵などを描く一方、獅子舞を舞うなど多方面で才能を發揮している。また、小豆川という苗字は徳川家康公から授かったという逸話は地元では有名です。

丸子に伝わる歴史や伝説  
人から人へ語り継がれる丸子の魅力

# もっと見たい、もっと聴きたい、丸子の魅力! 丸子は奥が深い!

## ①宇津ノ谷に伝わる秀吉の陣羽織

宇津ノ谷地区にある御羽織屋には戦国時代、豊臣秀吉が小田原征伐の時、主人石川忠左衛門の忠節に感銘し与えた陣羽織が、今も貴重な文化財として保存されています。

## ②悲運の武将片桐且元のお話

源頼朝が鎌倉幕府創立を記念して創建された誓願寺には、戦国時代「君臣豊楽國家安康」の八字をめぐる「鐘銘事件」にかかわった片桐且元の墓があります。



## ③西の防衛拠点要の山城丸子城

丸子城は、室町時代の初めから、戦国時代の終わりまでの約150年間にわたり使われた山城で、東海道を押さえ、駿府の西の防衛拠点としての要城でした。

## ④東海の名園吐月峰柴屋寺

室町時代に柴屋軒宗長により建てられた重要な史跡。京都の銀閣寺の庭をまねて作られた庭園は、南に丸子富士、西北に天柱山が見られるすばらしい名勝です。



## 戦国の要所丸子の歴史



## 東西交通の要所丸子路のおはなし

### 5 峰越しの難所 つたの細道

奈良・平安時代から1000年余りの間、宇津ノ谷峠を越える山道として利用されていました。細く険しい山道には山賊のような人がいたと言われ、旅人たちは暗く細い道に心細い思いをしたようです。峠には在原業平の歌碑があります。



### 6 日本最初の有料トンネル

長い間東海道は宇津ノ谷峠越しか交通路がありました。明治7年の着工から明治9年に完成するまで、このトンネルの工事は、大変な苦労がありました。



### 7 東海道の宿場町「丸子宿」

丸子は東海道五十七次の20番目の宿場町です。丸子宿は、丁子屋から約800m続いているようです。今でも一里塚や本陣跡(大名が泊まる宿)が残っています。



## 丸子の街と紅茶のおはなし

### 8 沔溢の歴史丸子川の堤

丸子の中心を流れる丸子川、かつては暴れ川で限られた平地を右へ左へとその姿を変えていましたが、秀吉の臣下中村一氏によって西側の山沿いに流れを変えられました。



### 9 日本紅茶の発祥「丸子紅茶」

明治初期から中期にかけて、旧幕臣多田元吉翁は紅茶製造の技術を丸子から全国に広めました。現在紅茶作りは、地域活性化の手段になっています。



### 10 丸子の町名の由来

丸子(まりこ)の地名や「二軒家」「大鑓」など丸子各地の名称にはそれぞれ興味深い由来があります。どのような意味があるのか語り部に聞いてみましょう。

## 丸子伝説と大鑓不動尊

### 11 慶龍寺に伝わる十団子伝説

慶龍寺の境内には、松尾芭蕉の弟子である森川許六が詠んだ「十団子も小粒になりぬ秋の風」という句碑があります。「人食い鬼と十団子」という伝説にちなみ、厄除けの十団子が現在も伝えられています。



### 12 起樹天満宮と頼朝の名馬磨墨と女婿

起樹(おきき)の名は、源頼朝時代の梅の木伝説(倒木が起き上がると言われる)が由来となっています。また頼朝寵愛の天下に轟く名馬「磨墨」(するすみ)と「女婿」(いけすき)の絵馬が奉納されています。



### 13 大鑓不動尊 不動明王のご利益

誓願寺が管理している不動尊。大小様々な地蔵が祀られており、不動明王のご利益を賜っています。毎月28日の不動尊の縁日には朝市が開かれ、大勢の参拝者が賑わいます。



さわり  
佐渡

